

参加無料
事前登録制



令和元年

8月8日(木)

13:00 ~ 16:20 (開場 12:30)

ポスト「京」重点課題4は、2021年頃の共用開始が待たれるスーパーコンピュータ「富岳」を駆使して、豪雨や台風でもたらされる自然災害による犠牲者ゼロ社会の実現を目指し、長いリードタイム(予報をしてから現象が発生するまでの時間)を確保するための技術研究開発を推進しているプロジェクトです。

今回のシンポジウムでは、「夏の気象現象」をテーマに、台風や竜巻などの強風災害や、季節内スケールの変動と集中豪雨・猛暑の関係、首都圏の光化学スモッグなどの夏の気象災害解明に向けて、どのようなシミュレーション研究が行われているか、分かりやすくご紹介します。また、招待講演として静岡大学防災総合センターの牛山 素行教授より近年の豪雨災害による人的被害の発生状況などについて講演いただきます。

「毎年のように発生する夏の気象災害のメカニズムってどうなっているんだろう…?」
皆様の疑問にお答えすべく、スーパーコンピュータならではの最新のシミュレーション研究をご紹介します。

プログラム

招待講演 静岡大学 防災総合センター 牛山 素行

講演

サブ課題A: 革新的な数値天気予報と被害レベル推定に基づく高度な気象防災

これからの強風災害

- 強くなる台風、頻発する竜巻での建築・都市へのインパクトを探る! -

東京工業大学 環境・社会理工学院 河合 英徳

サブ課題B: シームレス気象・気候変動予測

“極端天候銀座” ニッポン ~もつれあう大気と海洋の大動脈の傍で~

東京大学 大気海洋研究所 宮川 知己

サブ課題C: 総合的な地球環境の監視と予測

夏空と大気汚染

海洋研究開発機構 北極環境変動総合研究センター 滝川 雅之

*プログラムについては変更の可能性があります。

会場

国立科学博物館 日本館2階講堂

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

会場アクセス



- ・ JR「上野」駅(公園口)から徒歩5分
- ・ 東京メトロ銀座線/日比谷線「上野」駅(7番出口)から徒歩10分

主催

国立研究開発法人 海洋研究開発機構

第5回

夏の気象災害を解き明かす!

スーパーコンピュータ「京」から「富岳」へ

ポスト「京」重点課題4
観測ビッグデータを活用した気象と地球環境の予測の高度化



お問い合わせ先
(シンポジウム事務局)

国立研究開発法人海洋研究開発機構 研究推進部

TEL : 045-778-5753 Email : pi4-contact@jamstec.go.jp

事前申し込みURL

https://www.jamstec.go.jp/pi4/ja/event/sympo2019_2nd/form/

夏の気象災害を解き明かす！ スーパーコンピュータ「京」から「富岳」へ

招待講演



略歴

長野県生まれ。信州大学農学部卒業。東京都立大学客員研究員。京都大学防災研究所助手、東北大学災害制御研究センター講師、岩手県立大学総合政策学部准教授などを歴任。博士（農学）、博士（工学）、専門社会調査士。

牛山 素行

(静岡大学 防災総合センター)

専門分野

災害情報学および自然災害科学。豪雨災害を中心として、全国各地の災害時の現地調査に取り組み、災害情報の利活用や避難行動などの調査研究を行っている。個人ホームページ<http://disaster-i.net/>、ブログ、ツイッターでも発信している。平成15年度日本自然災害学会学術賞受賞、2009年度日本災害情報学会廣井賞（学術的功績分野）受賞。

著書

牛山素行：防災に役立つ地域の調べ方講座、古今書院、2012。

牛山素行：豪雨の災害情報学 増補版、古今書院、2012。

講演



サブ課題A：革新的な数値天気予報と被害レベル推定に基づく高度な気象防災

これからの強風災害 - 強くなる台風、頻発する竜巻での建築・都市へのインパクトを探る！ -

河合 英徳

(東京工業大学 環境・社会理工学院)

昨年の台風21号では建築物に多くの被害が発生しました。

頻発する台風、竜巻等の強風災害は私たちが暮らす建築・都市での被災リスクを高めており、これからの強風を明らかにすることは急務です。

これら極端気象による強風・突風が建築・都市に及ぼすインパクトを、都市形状を再現した「京」の高解像度計算によって明らかにします。



サブ課題B：シームレス気象・気候変動予測

“極端天候銀座”ニッポン
～もつれあう大気と海洋の大動脈の傍で～

宮川 知己

(東京大学 大気海洋研究所)

近年多発している集中豪雨や異常高温。我が国は地球という巨大な熱システムの心臓部のすぐ下流にあり、心臓部の揺らぎの影響をまともに受ける宿命を背負っています。この揺らぎを捉えることによって2週間～数ヶ月程度先までの極端天候の起こりやすさを予測することを旨とするサブ課題Bの取り組みを紹介いたします。



サブ課題C：総合的な地球環境の監視と予測

夏空と大気汚染

滝川 雅之

(海洋研究開発機構 北極環境変動総合研究センター)

東京周辺域では夏に光化学スモッグが発生しやすいことはご存知でしょうか？

夏の気象条件と大気汚染物質が東京周辺域に運ばれる仕組みについてご紹介いたします。

・プログラム・

12:30～13:00	開場・受付開始
13:00～13:10	開会挨拶
13:10～13:50	招待講演 (静岡大学 防災総合センター 牛山 素行)
13:50～14:30	サブ課題A：革新的な数値天気予報と被害レベル推定に基づく高度な気象防災 これからの強風災害 - 強くなる台風、頻発する竜巻での建築・都市へのインパクトを探る！ - (東京工業大学 環境・社会理工学院 河合 英徳)
14:30～14:50	休憩

14:50～15:30	サブ課題B：シームレス気象・気候変動予測 “極端天候銀座”ニッポン ～もつれあう大気と海洋の大動脈の傍で～ (東京大学 大気海洋研究所 宮川 知己)
15:30～16:10	サブ課題C：総合的な地球環境の監視と予測 夏空と大気汚染 (海洋研究開発機構 北極環境変動総合研究センター 滝川 雅之)
16:10～16:20	閉会挨拶

※プログラムは変更になる可能性があります